



## あいさつ

校長 五十嵐 圭一

新年度がスタートして早いものでもう1ヶ月が過ぎましたが、保護者の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。4月19日（金）の全校授業参観・学級懇談会、また4月25日（木）の部活動保護者会には、多数ご参会いただきありがとうございました。

さて、桜木中学校の朝は、生徒たちのさわやかな**あいさつ**で始まります。「おはようございます」この言葉一つで、その場の雰囲気明るくなり、**あいさつ**を交わしたお互いの人の心が和み、笑顔が生まれます。地域の方々からも、「桜木中学校の生徒は、とてもよく**あいさつ**をしてくれますね。うれしいです。」という話を度々耳にします。

**あいさつ**はとても不思議なもので、全然知らない間柄でも、言葉（日本語）の通じない相手でも、その心を開かせる大きな力をもっています。知らない土地に出かけた旅先などで、「おはようございます」「こんにちは」等の**あいさつ**をするとどんな人も、にっこりと顔をほころばせて**あいさつ**をしてくれます。これは、意思伝達機能としての言葉が、その意味を離れ、言葉を交わすことによってお互い



【授業の様子】

の人間関係を円滑にする、いわば潤滑油のような働きをするからです。**あいさつ**は社会人としての基本的なマナーであるとともに、「相手に親近感を抱くことができる。さわやかな気持ちになれる。」など生活全体に潤いを与えるといった効果もあります。元NHKアナウンサーで、「気づばりのすすめ」など、話し方や人間関係に関する書籍を執筆した、鈴木健二氏も**あいさつ**の大切さについて、『挨拶とは何か、それは「心を開いて相手に迫る」ということです。』と述べています。

10連休も終わり、5月は、中間テスト、体育祭など様々な行事が本格的に始まります。生徒たちが、充実した学校生活を送ることができるよう生活のリズムを整えるなど、保護者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校教育目標

「溢れる英知 輝く笑顔」 ～学習いっぱい 優しさいっぱい 元気いっぱい～